

物語を読んで自分の考えをまとめよう

～世界でいちばんやかましい音～

尾道市立高須小学校 指導者 小川 裕希子

1 日 時 令和7年7月4日（金）5校時

2 学 年 第5学年

3 単元目標

物語を読んで考えたことと、既存の知識や経験と結び付けながら物語の全体像を捉えることを通して、自分の考えをまとめることができる。

○話や文章の構成や展開について理解することができる。〔知識及び技能〕（1）カ

○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕C（1）エ

○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕C（1）オ

○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

4 児童観

「読むこと」において、文学的な文章の読取りに関する所属校の実態として、学力調査（令和6年度）における精査・解釈に関する問いの通過率は全国平均を上回っており、児童は精査・解釈する力をおおむね身に付けていると考えられる。しかし、文学的な文章を学習した後、自分の考えをまとめる際、「（中心人物は）すごかった。」「（クライマックスに）驚いた。」といった単発の感想を書く児童が半数近くいた。初発の感想から大きな変化はなく、「感想」から理由や根拠をもって表現した「考え」にすることが難しい児童もみられた。このことから、物語を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題があると考ええる。

5 指導観

上記の課題について、授業の際、精査・解釈したことと、既存の知識や経験を結び付けて考える手立てが十分でなかったことが挙げられる。鶴田清司（2020）は「ふだんの授業において、子どもが持ち合わせている範囲の既存知識・生活経験からテキストの意味を解釈するという思考の態度や方法を促すことが望まれる」¹⁾としている。このことから、物語を読む際に、物語の内容と既存の知識や経験を結び付けて読み進めることで、人物像や物語の全体像を具体的に想像でき、理解したことに基づいて学習後に自分の考えをまとめることができると考えられる。

そこで、物語を読んで理解したことを基に、作者のメッセージである「物語のテーマ」について自分の考えをまとめていくために以下の2点に取り組む。

1点目は、登場人物の相互関係や心情について精査・解釈する際に、教材との対話である「学習材との対話」、「他者との対話」、考えを再構築するための「自己内対話」を毎授業及び単元末に意図的に取り入れることとする。そうすることで、物語を読んで理解したことと既存の知識や経験を結び付けて考えられるようにする。2点目は、作者のメッセージを読み取るための視点である「アイテム」を活用する。既習のアイテムに加え、【自分にも】という新しいアイテムを設定することで、既存の知識や経験を結び付けることを意識させる。これにより、児童は物語の全体像をより具体的に想像し、内容を捉えることができると考える。

これらの取組を通して、第3次で物語を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることにつながれると考える。また、第1次では初発の感想と共に「物語のテーマ」を設定しているが、単元末との変化に気付くことで、既存の知識や経験と結び付けて読むことの良さを実感できるようにする。

6 単元で取り上げる言語活動

物語を読んで理解したことに基づいて、「物語のテーマ」について自分の考えをまとめる。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕C(2)イ)

7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①話や文章の構成や展開について理解している。(C(1)カ)	①「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 (C(1)エ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)	①進んで物語を読んで考えたことと既有的知識や経験を結び付けながら物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって、「物語のテーマ」について自分の考えをまとめようとしている。

8 単元の指導計画 (全5時間扱い)

本質的な問い (何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)	
物語を読んで自分の考えをまとめるにはどのような読み方をしたらよいのだろうか。	
単元を貫く問い (単元を通して考え深めていく「問い」)	
物語の中で王子や町の人々の気持ちが変わったのはどうしてだろうか。	
主な学習活動と指導上の留意点 〔評価規準〕 評価方法	
第1次 学習の見通しをもち、初発の感想を書く。(1時間)	
<p>○題名読みをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名読みをして、どのような話であるか想像する。 <p>○単元の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分にとっての「物語のテーマ」について考えをまとめよう。</p> </div> <p>○初発の感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の大体を知る。 ・新出漢字や語句の確認をする。 ・自分が考える「物語のテーマ」を踏まえ、初発の感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既有的知識や経験を想起させ、やかましい音のイメージをもたせたり、話しの内容を想像させたりする。 ・【題名】の役割について確認させる。 ・用語について確認し、学習課題のイメージをもたせる。 ・アイテムの確認をする。 【対比】【山場】【自分にも】 ・ワークシートに初発の感想に加え、今考えている「物語のテーマ」とその理由を書かせるようにする。
第2次 物語のあらすじをつかみ、全体像を具体的に想像しながらつかむ。(3時間)	
<p>○物語のあらすじをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこの場面で何が起きたかを確認する。 ・それぞれの登場人物が考えたり行動したりしたことをまとめる。 ・「王子」と「町・町の人」が山場を境に大きく変化したことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに確認したことや考えたことを記入させる。 ・場面分けをさせ、各場面に小見出しをつけさせることで内容を把握させるようにする。 ・【山場】について確認させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔知識・技能①〕ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話や文章の構成や展開について理解しているかの確認 </div>
<p>○王子(前半)や町の人々(後半)の変化について考える。 (後半・本時)</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・変化する前と後の様子を確認する。 ・どのような気持ちだったかを考える。 ・変化した理由について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習材との対話をする際、王子や町の人々の行動や気持ちと、自らの既有的知識や経験をつなげて具体的に想像させる。 ・他者との対話を取り入れ、自分の考えを広げたり、深めさせたりする。 <div data-bbox="829 353 1401 488" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現①] ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで考えたことと既有的知識や経験を結び付けながら人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしているかの確認。 </div> <div data-bbox="829 533 1401 667" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで物語を読んで考えたことと既有的知識や経験を結び付けながら物語の全体像を具体的に想像しようとしているかの確認。 </div>
--	---

第3次 「物語のテーマ」について自分の考えをまとめる。(1時間)	
<p>○物語のテーマについて自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の全体像を振り返る。 ・自分にとっての「物語のテーマ」について考えたり、対話したりする。 ・自分にとっての「物語のテーマ」とその理由について考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習材との対話をする際、物語の全体像と自らの既有的知識や考えを結び付けて振り返りをさせる。 ・他者との対話を取り入れ、自分の考えを広めたり深めさせたりする。 <div data-bbox="829 963 1401 1064" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現②] ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめているかの確認。 </div> <div data-bbox="829 1097 1401 1198" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで「物語のテーマ」について自分の考えをまとめようとしているかの確認。 </div>

9 本時について (本時 4/5)

(1) 本時の目標

町の人々の気持ちが変化した理由について、文章を読んで理解したことで、既有的知識や経験を結び付けて読み、考えることができる。

(2) アイテムを使って見方・考え方を働かせた児童の姿

物語の始めと終わりを【対比】して読み、物語の前後で町の人々の気持ちが大きく変化した理由について、自分の考えをまとめることができる。

(3) 本時の学習展開

○主な発問や指示	◇指導上の留意点	[評価規準] 評価方法
1 学習問題について問題意識をもち、課題を設定する。		
<p>○本時のめあてを確認しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">なぜ、町の人々や町は変化したのだろうか。</div> <p>○アイテムの確認をしましょう。 【対比】【自分にも】</p>	<p>◇前時の振り返りを行う。</p> <p>◇【対比】【自分にも】の意味について確認する。</p>	
2 学習問題について考え、見方・考え方を働かせる。		
<p>○町の人々の変化について考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始めはうるさいことが自慢だったけれど、最後は静かで平和なことが自慢になった。 <p>〈自慢について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒ができるようになったとき、自慢したかった。とてもうれしい気持ち。 	<p>◇町の変化を簡単に確認する。</p> <p>◇自慢に思っている様子が分かる文に線を引かせ、簡単に既有的知識や経験を振り返らせる。</p>	

・自慢ってことは努力して頑張っていることも含まれるかもしれない。

○誕生日前後に起こった出来事について考えましょう。

- ・みんな「世界でいちばんやかましい音」を聞きたくて楽しみにしていた。
- ・誰も音を出さなくて、王子に悪いことをしてしまったと反省した。

〈気まずいについて〉

- ・友達と遊ぶ約束を破っていて気まずかった。
- ・悪気はなかったのだけど、「無理！」って言ったら悲しそうなお顔をされていて…気まずかった。
- ・気まずい気持ちになった後は、次の時はやめておこうと思った。

○町の人々の自慢が「静かで平和なこと」に変わった理由は、何でしょう。

- ・王子の好きなことをしてあげたいと思ったから。
- ・王子に対して悪いと思ったから、償いの気持ち。
- ・相手を大切にしようと思ったから。

◇誕生日前後の出来事を確認する。

◇町の人々の気まずいと思った気持ちを確認する。

◇気まずいと思っている様子が分かる文に線を引かせ、既知の知識や経験を振り返らせ、付箋紙に記入させる。【学習材との対話】

◇友達、全体との対話を通して、考えをより身近なものにさせる。【他者との対話】

【思考・判断・表現①】ワークシート

- ・物語を読んで考えたことと既知の知識や経験を結び付けながら人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしているかの確認。

【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート

- ・進んで物語を読んで考えたことと既知の知識や経験を結び付けながら物語の全体像を具体的に想像しようとしているかの確認。

◇山場の前後で、町の様子だけでなく、町の人々の気持ちも変わったことを確認する。

◇町の人々の気持ちが変わった理由について考えさせる。

◇既知の知識や経験と結び付けて考えるように付箋紙を活用させる。

3 学びの過程を振り返る。

○まとめをしましょう。

王子に悪いことをしたと気づいて、これからは思いやりをもって生活をしようと思ったから。

○学習の振り返りをしましょう。

◇アイテムをつかうこと、既知の知識や経験と結び付けて登場人物の気持ちを想像することについて振り返らせる。

◇本時の学習について振り返る。【自己内対話】

(5) 板書計画



